

ふじさわ地域包括ケア研究会 第50回記念講演会

「地域の力」 ～住み慣れた地域で自分らしく生活するために～

平成24年から始まったふじさわ地域包括ケア研究会（F-net）も第50回を迎えました。

休まず歩み続けてこられたのも地域の方々の理解、支えがあったからです。

今日まで地域で行ってきた支え合い「地域の力」について再認識し、自分達の役割、地域の役割を改めて考える機会にしましょう。

平成29年2月4日（土）

時間 13：30～16：00（受付13：00～）

場所 縄文ホール（入場無料）

光栄荘劇団公演：「認知症でも大丈夫！皆で支え合おうよ！在宅介護」（13：40～14：10）

平成28年度地域ナイトスクールでも公演した認知症の家族のストーリーを更に内容を充実して演じます。

講演 演： 「地域の力」（14：20～15：00）

つるかめ診療所（栃木県下野市）

つるおかゆうこ
鶴岡優子医師

<鶴岡優子医師プロフィール>

1996年～2000年藤沢病院勤務。2008年栃木県下野市につるかめ診療所開設。

2011年11月仮設移動型カフェとしてつるカフェを開設し住民も交えた勉強会等を行っています。

シンポジウム：「地域の力」（15：00～16：00）

<シンポジスト>

藤沢町住民自治協議会

長徳寺

第4区自治会お茶会

ケアチャレンジ参加者

会長

住職

世話人

千厩高校1年

ちだ ひろし
千田 博氏

しぶや まさゆき
渋谷 真之氏

すずき みえ氏
鈴木 みえ氏

おうみ つばさ
近江 翔氏

<座長：鶴岡優子医師（つるかめ診療所）>

主催：ふじさわ地域包括ケア研究会（F-net）

共催：一関市病院事業

問い合わせ先：高齢者総合相談センターふじさわ（事務局）

電話 63-3181

第 50 回ふじさわ地域包括ケア研究会記念講演会

講師・シンポジストプロフィール

<講師>

つるおか ゆうこ

鶴岡 優子先生：つるかめ診療所（栃木県下野市）

1995 年 自治医科大学地域医療学教室
1996 年～2000 年 藤沢町民病院
2008 年 栃木県下野市につるかめ診療所開設
2011 年 6 月 仮設移動型カフェとしてつるカフェを開設

【つるカフェ】：地域で学び合う文化を育み成長し続けること、住み慣れた地域で自律して生き、最期まで地域で自律して生きるためにはどうしたらよいか問い続ける勉強会をしている。勉強会は多職種・他機関の連携・協働のための勉強会のほか一般市民を交えての公開講座なども行っている。

<シンポジスト>

ちだ ひろし

千田 博氏：藤沢町住民自治協議会会長

平成 26 年に藤沢町自治会協議会で策定した「藤沢地域づくり計画書」の推進に向けて地域内の 8 つの支部と計画をどのように進めていったらいいか話し合いを重ね、協働の町づくりを牽引している。

市内地域の先駆けとして注目されており、その取り組みについて紹介していただく事としています。

しぶや まさゆき

渋谷 真之氏：長徳寺住職

平成 20 年からお寺を地域住民に開放して手芸教室やヨガ教室などを行っている。渋谷住職は「自分は間口を広げて場所を開放しているだけで、住民が主役で住民が活躍している。」と黒子役に徹しているが、地域の人々を結ぶ大切な役割を果たされています。お寺と地域のつながりについて紹介していただく事としています。

すずき

鈴木 みえ氏：第 4 区自治会お茶会世話人

平成 20 年から始まった第 4 区自治会のお茶会は平成 28 年 12 月で 115 回目を迎えた。参加人数は述べ 1, 876 人になる。お茶会を継続する原動力、そしてこれからの地域でのお茶会の在り方などについて紹介していただく事としています。

おうみ つばき

近江 翔君：ケアチャレンジ参加者千厩高校 1 年生

ケアチャレンジを再開した平成 25 年から、当時中学校 1 年生の近江翔君は中学 3 年になるまで毎年ケアチャレンジに参加してきた。

ケアチャレンジに参加するきっかけや、参加しての感想、そしてこれからの地域社会への思いなどについて発表していただく事としています。

<光栄荘劇団公演>

光栄荘職員による演劇。認知症のおばあちゃんを抱えるサラリーマン一家の物語。おばあちゃんの症状を誰にも相談できず葛藤する家族…。地域で認知症をケアする意義とは？

認知症について皆で一緒に考える機会になればと思います。